

# ふるさとと歴史アラカルト

## 岩国城③ 横山を選んだ理由

戦国時代とも呼ばれる中世末期、城は軍事的要害として多く建設されましたが、その一つ一つの規模は決して大きくなく、「天険」と呼ばれるような険しい山や谷など、自然の要害を利用して築かれたものが中心でした。しかし近世に入ると、戦術の転換によって兵や物資などを集中させるようになったことから、城の数は減ったものの、より大規模なものが築かれるようになっていきました。また、要害としてだけではなく、政治の中心地としての機能が求められるようになり、交通の要地を押さえることも重視されるようになりました。このような時代の流れを受け、国内における城地の選定は、山から比較的小高い丘陵などの高地へ、さらに平地へと移っていったのです。こうした変化は、統治に必要な機能を城の周辺に効率よく配置することを可能とし、城下町という一つの都市形態を発達させました。そして、統治の中心地として交通の要地を押さえることが重視されたことから、近世の都市計画

においては、陸上交通は当然のことながら、海や川を利用した計画が進められました。

吉川氏が選んだ横山も、陸上交通の要である中国路(山陽道)に近く、瀬戸内海や領内を横断する錦川などの水運も活用しやすいため、交通の要地を押さえるという点では、時代の流れに沿っているといえます。しかしながら、横山は横山(城山)と錦川に囲まれており、城下町を機能的に形成するには、平地の面積が不十分という問題も抱えていました。そのため、城下町は錦見川西、今津にも分散配置することとなりました。また、山上に要害を築くのは、平地に築くよりも経費が掛かるため、再利用ではなく一から築くのは当時は珍しいことでした。

これは、吉川氏が横山を選んだ理由として、統治の面だけでなく、軍事的要害としての機能も重視していたためであり、交通の要地を押さえるとともに、錦川や横山(城山)を防衛に利用する目的があったと考えられます。



### いわくにちょうこかん 岩国徴古館

昭和20年に旧岩国藩主吉川家によって建てられ、その後岩国市に移管された市立の博物館

住所：横山二丁目7-19 ☎0452  
休館日：月曜(祝日の場合はその翌日)

◀『岩国領全図(部分)』  
寛文8(1668)年に描かれた絵図で、細かく岩国を描いた絵図の中では最も古いもの

### 岩国市 人口・世帯

人口 144,009人 男性 68,184人 女性 75,825人

世帯 66,948世帯 ※外国人人口を含む(平成25年5月1日現在)

交通事故発生件数 4月分事故件数 59件(201件) 死者数 0人(0人) 傷者数 70人(234人)  
※高速道路発生分を除く ※( )内は平成25年累計

広報テレホン 休日在宅医療機関、イベント情報などをお知らせしています。テレホンサービス ☎231234

目の不自由な人へ 「広報いわくに」のカセットテープをお貸しします。音声読み上げのためのテキスト版を、ホームページに掲載しています。

お問い合わせはお気軽に、秘書広報課広報班へ ☎295016 FAX213337